

使用ツール

iMovie

活用シーン

○教科書や国語便覧の写真や挿絵を収集し、iMovieの「予告編」の中にあるテンプレートを活用し「扇の的一-「平家物語」から-」の内容を基にして、映画の予告編を作成する。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○BGMやキャッチコピーが安易に入れられるというiMovieの特性を活用することで、生徒がイメージしたものに近い予告編を作成することができた。



B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、
作品の制作

使用ツール

School e-Library

活用シーン

○資料を引用してレポートにまとめる際に、その根拠として電子書籍を活用しながら調べ学習を行った。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○調べたいテーマに合わせて、瞬時に情報を集めることができた。

○他の資料と比較しながら情報を整理することができた。



B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、作品の制作

使用ツール

One Note

活用シーン

○個人追究

直接書き込んだり調査内容を記したノートを写真にとって、画像や資料を画面内に貼り付ける。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○根拠となる資料を容易にまとめに挿入することが可能になり、資料を活用する生徒が増えた。

○ノートを回収する必要がない。随時採点が可能。



アフリカの課題

2020年10月30日 金曜日 8:40

進む都市化

アフリカでも農村から都市への移住が進んでいる。
各国の首都を中心に人口が集中している。

都市化が進む→携帯電話などの情報通信網の整備が進む



↓
上下水道などの整備が遅れている。□

都市への移住者の多く→建設工事現場、レストランなど、

賃金の安い仕事をしている。



簡単な作りの家に住んでいることも多く、
↓スラム

B4 表現・制作



マルチメディアを用いた資料、
作品の制作

使用ツール

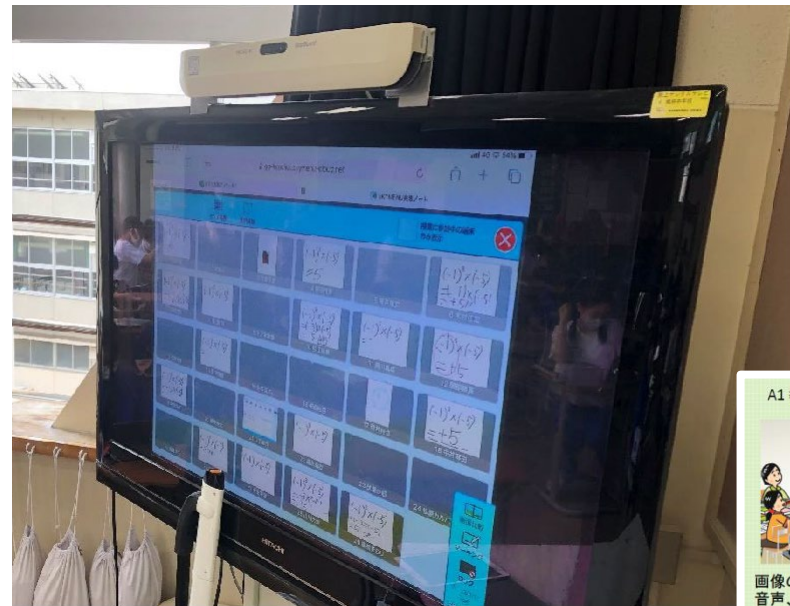
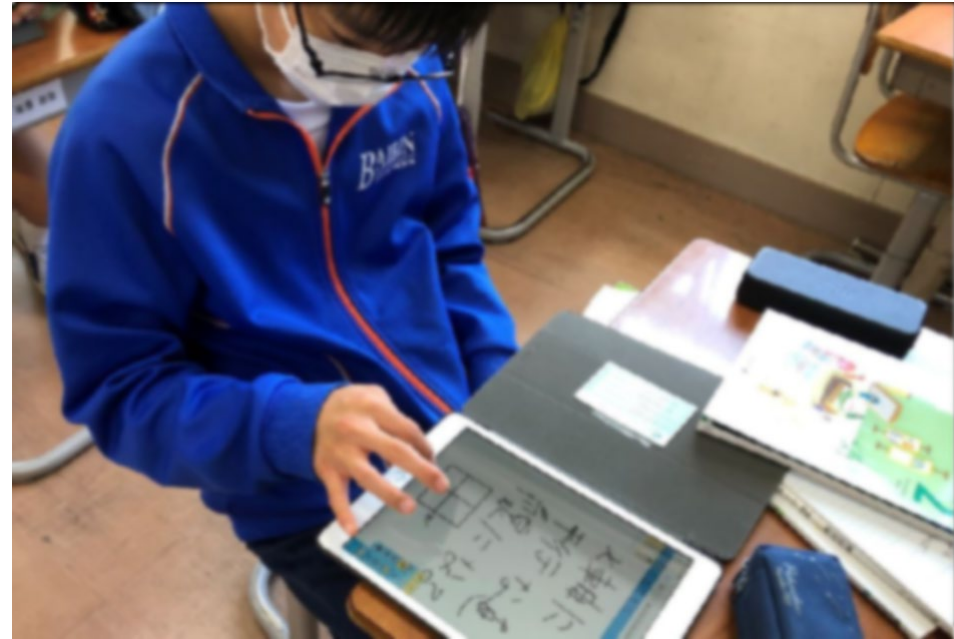
SKYMENU Cloud

活用シーン

○授業の初めに教科係が中心となり、既習事項の復習を行っている。その際、SKYMENU Cloudの発表ノートを大型TVに投影し、誰がどのように考えているのかを可視化させた。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- つまづいてしまった例を取り上げ、起こりうるミスを紹介したり、良い考えと比較させたりするなど、全員で考えを共有することができた。
- 繰り返して行う度に生徒もスムーズに行えていたので、今後生徒主体で行わせていきたい。また、既習事項の復習以外の1人1人が考えをもつ場面でも活用できた。



使用ツール

カメラ（動画）、Teams

活用シーン

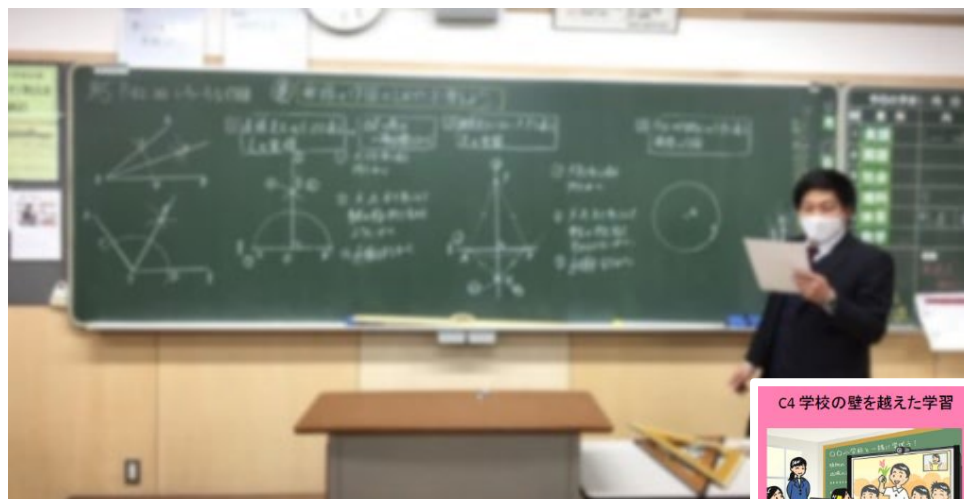
○事前に授業動画を撮影し、
教室内でその動画を視聴し
ながら学習を進める。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○【生徒の感想】

自分で動画を止めながら、自分
のペースで学習を進めることが
できてよかった。

考える時間もじっくり位置付い
ていてよかった。これがあれば、
緊急時も学びが止まらない



C4 学校の壁を越えた学習



遠隔地や海外の学校等との交流授業

使用ツール

カメラ（動画）、Teams

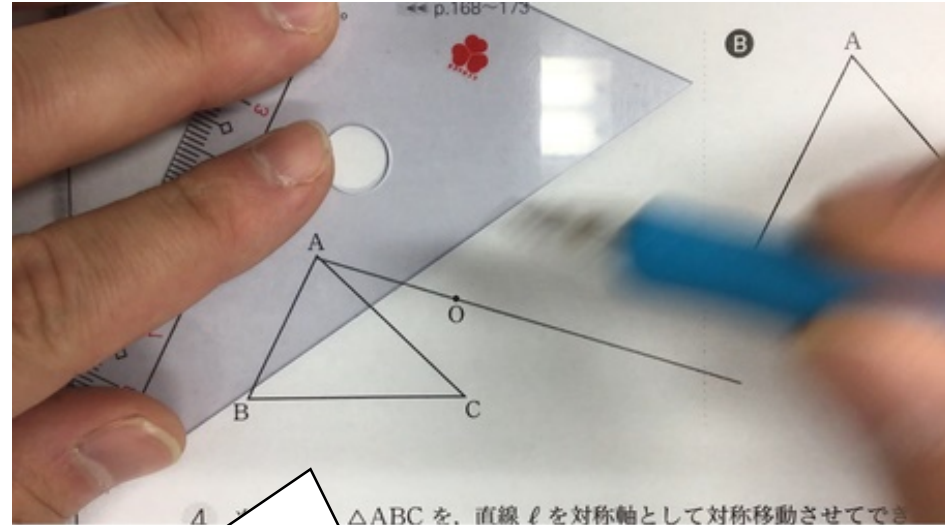
活用シーン

○図形領域の作図の仕方や、解説を動画で事前に撮影し、Teamsで生徒に配信する。生徒は、授業中や家庭で活用し、定着を図る。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○【生徒の感想】

ワークなどの解説は、文章で解説は書いてあるが、イメージをつかむのが難しい。動画があると、一緒に作図方法を確認しながら進められてとても分かりやすかった。



教科書の練習問題についての解説動画を作成。事前に、解説原稿を作成し、読みながら作図を行う。その様子を動画で撮影した。

A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

使用ツール

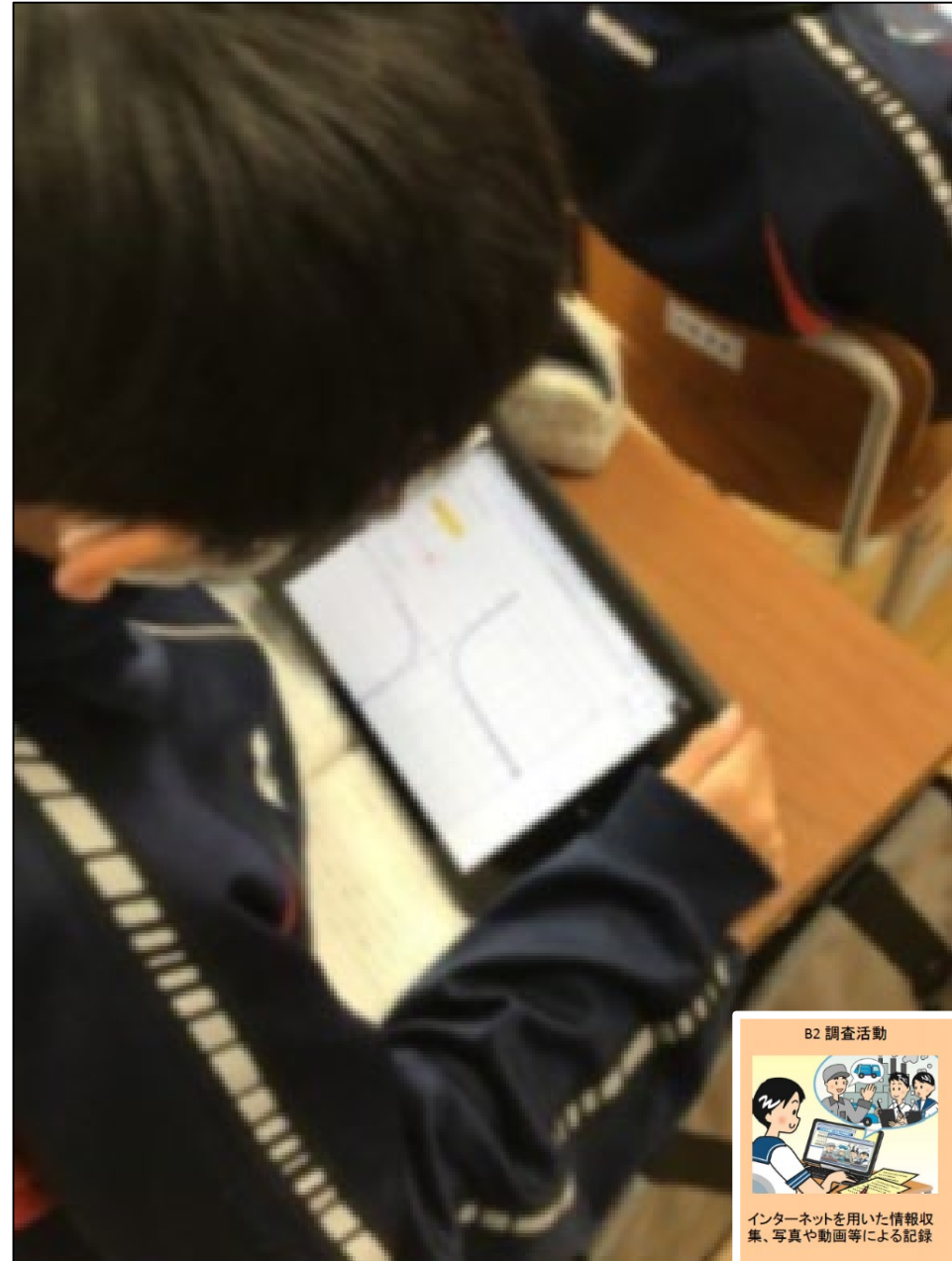
インターネット
(中数研サイト GeomathRoom)

活用シーン

○比例定数が負の数である反比例のグラフをかき、その特徴を調べ、比例定数が正の数である反比例のグラフと比較することで、「反比例のグラフの特徴」として統合し、一般化を図る。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 一つの画面上で、比例定数が正の数であっても負の数であっても、グラフが短時間で表示される本ソフトを活用することで、グラフの比較を効率よく進めることができた。
- 点と点の間は本当に曲線になるのかを、点を細かくとることで、視覚的に捉えることができた。



B2 調査活動



インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録

使用ツール

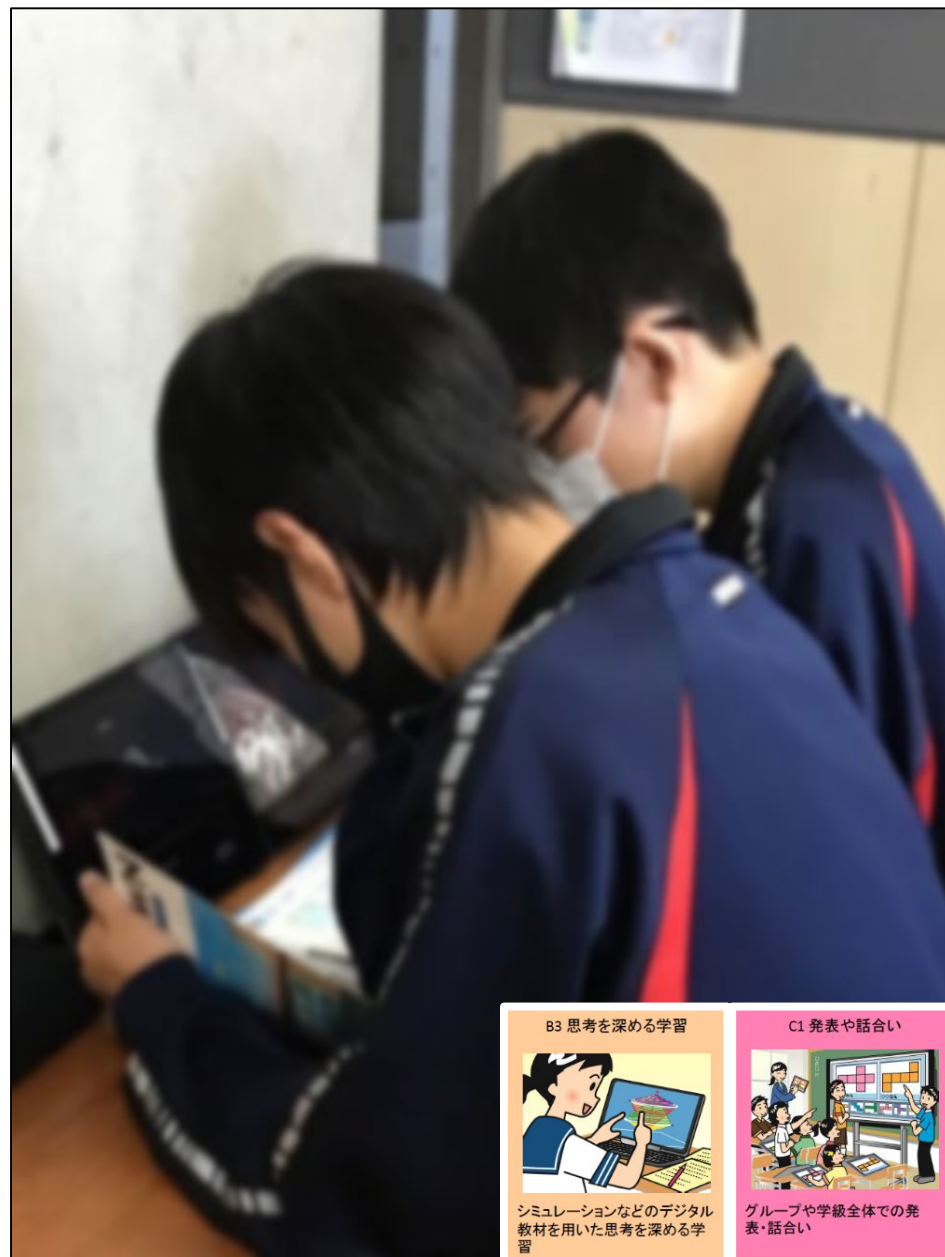
ボイスメモ

活用シーン

- ボイスメモを活用することで、自分の音声を確かめるとともに、より正確な発音で、適切な声量で音読する。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 「自分は結構はっきりと音読していたつもりだったけど、聞き取りにくいね。」「今の発音間違えたから、もう一回いい?」と、これまで以上に意欲的に音読する姿が見られた。
- 自分自身で評価し、改善できることが、自身の成長や伸びを直接実感でき、意欲的な学びに繋がった。



使用ツール

動画撮影機能

活用シーン

○木材を切断している様子を動画で撮影し，自分の切断の様子を客観的に見ることができるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○切断するときの姿勢や、のこぎりの刃の角度などを，客観的に見ることによって，どのようにすると効率よく切断できるかを検証することができた。



B1 個に応じる学習



一人一人の習熟の程度等に応じた学習

C1 発表や話し合い



グループや学級全体での発表・話し合い

使用ツール

Power Point

活用シーン

○複数の資料を使用し、子どもたちの多様な見方・考え方を引き出してユニットを貫く課題を明らかにし、これからの学習に対する意欲を高める。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○資料をパワーポイントに張り付けて作成し、Teams機能を活用して生徒一人一人のタブレット端末に資料を配付したことで、ピンチアウト（2本の指で拡大すること）が可能になり、生徒が興味をもった資料を細部まで追及できることにつながった。



A1 教員による教材の提示



画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用

使用ツール

School e-Library

活用シーン

- 毎朝の朝読書で学級に配布し、朝読書を行った。
- 図書館で本と同じように貸出を行い、全校生徒が読めるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- たくさんの本の中から選択できるので、興味のある本を見つけることができた。
- 全校 8 8 2 人に対して 4 1 人の閲覧では、なかなか全校生徒で活用することが難しかった。



B3 思考を深める学習



シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習

使用ツール

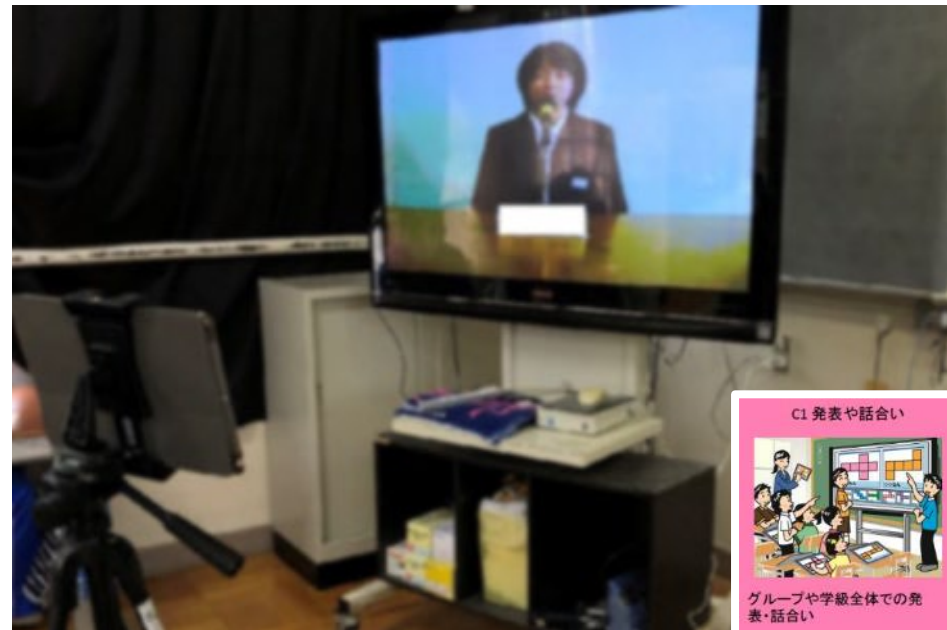
Teams/Forms

活用シーン

○後期の生徒会選挙の公約をTeamsにアップして、事前にいつでも見えるようにした。また、選挙当日は、Teamsの会議システムを用いて、オンライン配信を行った。投票についても、Formsを使ってオンラインを見ている生徒は誰でも投票できるようにした。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 本この方法によって本校の生徒は、例え欠席したとしても、誰でも投票ができるシステムを構築できた。
- 実際、欠席しながらも、仲間の演説を聞いて、一票入れようとする生徒の姿があった。
- 放課後の集計する手間が省けた。



使用ツール

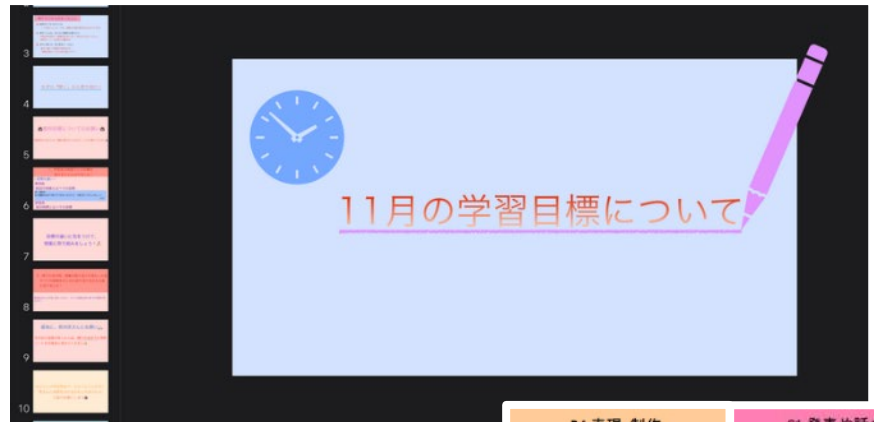
Keynote

活用シーン

○朝の会や帰りの会において、係や委員会からの連絡や提案をKeynoteでまとめ、テレビに映してプレゼンする。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 手書きをし、印刷して提案するよりも、Keynoteにまとめることで、要点を絞ってまとめる力や、端的に伝える力が身についた。
- 聞き手も興味深く集中して聞き、提案に対して意見を述べる事ができた。



使用ツール

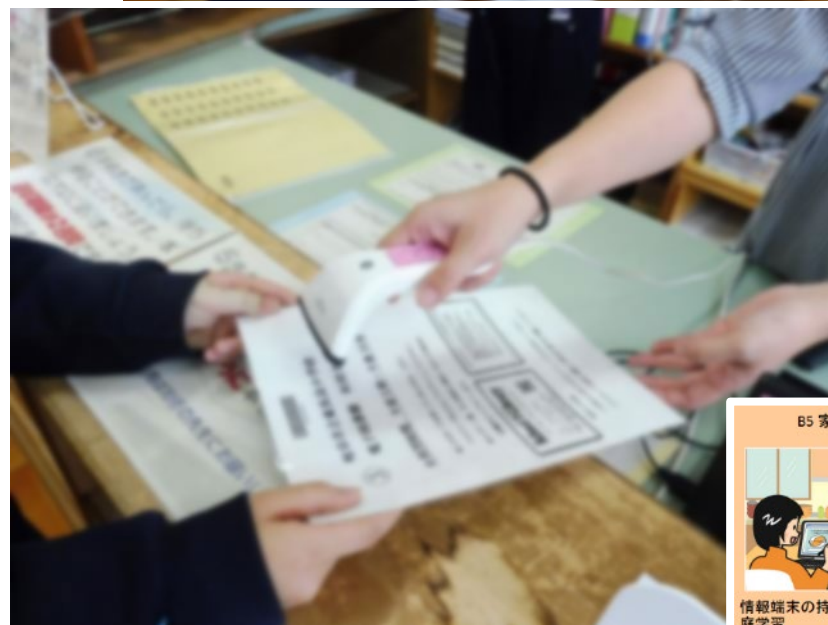
School e-Library

活用シーン

○家庭での読書活動の推進に役立てた。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○本が好きな生徒にとって、普段手にとらない本など、様々な本に触れられるという点で有効だった。



使用ツール

eライブラリ

活用シーン

○夏休み中の生徒の学習の進捗状況を確認できるようにするため、全校一斉でオリエンテーションを行い、各教科の時間で課題についての説明を行った。

子どもの姿・授業の様子、成果等

- 夏休みが始まる前に13時間程度eライブラリーを進める生徒を紹介したり、進捗状況のグラフを見せるなどした。
- 夏休み中にFormsも活用しながら、課題の進捗状況に対するアンケートを取り、意識を高めていく予定。



B5 家庭学習



情報端末の持ち帰りによる家庭学習

使用ツール

Forms

活用シーン

○生徒の学習の様子課題の進捗状況や生活の様子等を確認するためのアンケートを実施した。

○Teamsやホームページにアンケートのまとめを掲載した。

子どもの姿・授業の様子、成果等

○学習時間が際立っている仲間を紹介したり、受験勉強に取り組む3年生の頑張りを他学年の指標にしたりすることができた。

○思ったように学習を進められない生徒がいたときには、担任が連絡を取り合い、サポートすることができた。

夏休み中の生活アンケート

4.7月21日から7月28日までの平均学習時間を教えてください。*

- 0-1時間
- 1-2時間
- 2-3時間
- 3-4時間
- 4-5時間
- 5-6時間
- それ以上 (下に時間を記入して下さい)
-
- その他

*必須

1.学年、学級、出席番号を6桁で答え下さい。(例:3年1組40番-030140) *

2.7月21日から7月28日までの期間の生活は充実していましたか。(生活面、学習面、部活動、健康面など総合的に考えて) *

- 充実している
- まあ充実している
- あまり充実していない
- 充実していない

3.2の理由を教えてください。*

4.7月21日から7月28日までの期間の合計学習時間を教えてください。*

- 0-1時間
- 2-3時間
- 4-5時間
- 6-7時間
- 8-9時間
- 10-12時間
- 13-15時間
- 16-18時間
- 19-22時間
- 23-25時間
- 26-30時間
- それ以上 (下に時間を記入して下さい)
-
- その他

夏休みアンケートの結果(7/29実施)

みなさん、毎日どのように過ごして下さっていますか?オンライン学習が継続している人、部活見学や勉強に励んでいる人、部活動に熱心でいる人、家庭での学習を大切にしている人、道徳、防災・コロナウイルスの感染が心配されていること、夏休みの学習意欲や生活の様子など多岐にわたる健康に、安全に過ごしていただけたらと思います。

さて、夏休みアンケートを実施しました。多くの回答をありがとうございます。では、その結果をご紹介します。

夏休み前半の充実度(全校)

● 充実している
● 充実していない

夏休み前半の充実度(4年生)

● 充実している
● 充実していない

夏休み前半の充実度(7年生)

● 充実している
● 充実していない

夏休み前半の充実度(3年生)

● 充実している
● 充実していない

80%程度の生徒が充実しているかまあ充実していると回答しました。勉強や部活で頑張っていることがわかります。充実していない生徒は、準備や生活リズムで困っていることが多いです。8/1(火)からは授業にも毎日目入っていますので、気持ちが軽くなっていきます。何かあれば、8/2(月)に学校に連絡していたらいい。タブレットの学習を有効に活用してみたい。生活リズムが壊れたら人まらよかったです。前回の自分を見つめ直して頑張るだけでもいい。自分が気持ちよくアンケートできると思います。

夏休み前半の学習習慣(全校)

夏休み前半の平均学習時間(各学年)

夏休み前半の合計学習習慣(全校)

夏休み前半の合計学習時間(各学年)

先生は、「学年+1」期間勉強するようにと書かれた。夏休みもちゃんと学習できようね、これもあると、やはり夏休みの学習の継続が大事です。それ以上の生徒は、1日1時間、資料の勉強という生徒もいました。しっかりと、上と高校見学、中間テストの結果を見て、志願校学習しているなどと思います。1.2年生の中心も、合計40~60時間の生徒が多いです。(2年生は)80時間という生徒もいました。1.2年生が頑張るとともに、3年生も頑張ることも、夏休みもちゃんと学習に取り組むことは、大切なことだと思います。ぜひ頑張って下さい。

オンラインの進捗状況(全校)

● 進捗している
● 進捗していない

オンラインの進捗具合はこのようになり。また、オンラインで学習するのにも大変な思いをしています。オンラインで学習するのにも大変な思いをしています。オンラインで学習するのにも大変な思いをしています。オンラインで学習するのにも大変な思いをしています。

最後に、「大会で1位になった」「オンラインで頑張った」等の喜びの言葉がありました。そんな喜びは先生も嬉しく思います。次にみんなと楽しむのはいいと思います。習性にも入っている生徒もいると思います。ですが、遅くともみんなのことを考えている先生は多いので、楽しもう自分の志に向って頑張ってください。

尚、「ノートを書くのでか」と言う言葉がありました。これはお任せです。各学年で配布された教科書だけでなく、書くのが好きな人はノートを書くのもいいかもしれません。